



年末年始労働災害防止強調期間にあたり

日鉄エンジニアリンググループの皆さん、ご安全に！

早いもので今年も残すところあと1ヵ月となりました。本年の安全成績は、当社発足以来、ワーストに近い状況にあります。3月にはグループ会社において重大災害が発生し、4月には年重点目標であった墜落災害が発生させたことは大いに反省すべき状況です。しかしながら、7月の「緊急事態宣言」発令後においては、安全成績の改善が見られています。下期は上期の災害を反省し各部門で災害防止に取り組んだことが成果に繋がったと考えます。一人ひとりが安全意識を高めていくことが災害リスク低減に大きく寄与すると考えます。この安全活動やこの雰囲気、是非、継続するようにお願いします。

例年、年末年始は繁忙感から慌ただしく、気分が散漫になりがちとなり、災害が多発する傾向にあります。私たちはこの時期を重点期間と位置付け本年の方針や現在までの発災事例の反省を踏まえ、以下の事項を再確認し、全員で無災害の年末年始を迎えましょう。

➤ 2024 年々末年始重点活動事項

重点管理方針

重点活動事項

(1)類似災害の再発防止

- ① 昨年から現在までに生じた災害事例を再度周知し危険に対する感度を向上させ、自部門にて類似点がある場合は再発防止対応を総点検する。
- ② 工事計画審議やリスクアセスメントは店社幹部（室長以上）が必ず参画し対策の漏れを防ぐ。
- ③ 店社の管理者層は期間活動中での安全パトロールを必須活動事項とする。

(2)安全設備等の適正な設置の確認

- ① 高所・開口部からの墜落・転落防止設備の確認
- ② 有害物質＜ガス、高温など＞・酸欠防止対策の徹底
- ③ 土砂崩壊防止設備の確実な設置

(3)不安全行動の撲滅

- ① 安全コミュニケーションの推進（施工管理者から作業員への積極的な声掛け）
- ② 指差確認（ひと呼吸運動・AAO 活動など）を全員に周知徹底しリスク（危険）を意識させる。

年末の繁忙さや冬季での気象条件変化により、体調を崩しやすい季節となります。うがいや手洗い等の衛生面の管理も併せてお願いします。全員が健やかな新年を迎えられるよう団結して本期間での「災害ゼロ」を達成しましょう。

ご安全に！

2024 年 12 月 1 日

安全衛生・環境部長 山口 延嘉